

国立市立国立第四小学校
令和5年度
第3学年
授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	① 知識・技能	・新出漢字を使う場面で、正しく書けていない児童が3割程度いる。(①) ・課題に取り組む際、文章の叙述を基に読み取ることのできない児童が2割程度いる。(②)	・新出漢字の学習や答え合わせの際に間違いやすいポイントを確認しながら指導する。 ・範読の際に分からない言葉にサイドラインを引いて調べたり、課題を解決する際には文章に着目して考えるよう促したりする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
社会	① 知識・技能	・調べたことから、新しい課題を見出し、追究しようとする態度が身に付いていない児童が4割程度いる。(③) ・調べて分かったことをノートやパンフレット等に分かりやすくまとめる力が身に付いていない児童が3割程度いる。(②)	・自ら課題を見い出せるよう、日常の生活や社会に目を向けやすい資料やグラフなどを提示し、繰り返し問題解決型の学習に取り組ませる。 ・まとめる際の視点や工夫を、指導・助言する。まとめたことを友達同士交流できるようにし、良い所を参考にさせる。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
算数	① 知識・技能	・問題の文章をよく読み、理解して解答することが苦手な児童が2割程度いる。(①) ・自力解決する場面で、自分の力だけでは取り組めない児童が3割程度いる。(②)	・分かっている数字や聞かれていることに線を引くなどの工夫を指導したり、問題文を丁寧に読み込む場面を設けたりする。 ・友達同士の教え合い活動を取り入れたり、個別に指導・助言を行ったりする。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
理科	① 知識・技能	・実験や観察から分かったことをまとめ、表現し、問題解決することが苦手な児童が2割程度いる。(①②) ・生活体験を想起しながら予想を立てる力が十分に身に付いていない児童が2割程度いる。(②)	・問題解決的な学習過程を重視し結果から考えられることを日常生活での事象と関連させて考えられるよう、発問を工夫する。 ・実験や観察の際には、日常生活を想起させる場面を設け、実感を伴って理解できるように促す。またその場面を多めに設定する。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
音楽	① 知識・技能	・正しい音量で鍵盤ハーモニカやリコーダーを吹くことに課題のある児童が2割程度いる。(①) ・曲の感じを掴むことが苦手な児童が3割程度いる。(②)	・リコーダーの教本を取り入れて個別の指導を多くする。また、曲の感じをイメージさせることで、適した音量、音色での演奏ができるようにする。 ・音楽を聴く時に、どこに注目して聴くのか、視点を明確に指導する。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	① 知識・技能	・絵の具の使い方が身に付いていない児童が1割程度いる。(①) ・手順を見通して作品を作ることが苦手な児童が1割程度いる。(②) ・作品を見る時の視点が分からず、鑑賞会に積極的に参加できない児童が1割程度いる。(③) ・授業規律が身についていない部分がある児童が1割程度いる。(③)	・2年生の時に学んだ使い方を想起させる場面を作ったり、個別の声掛けしたりするなどして対応する。 ・作成手順を具体的に伝えて、児童が見通しをもてるよう指導する。 ・視点が分かるよう個別に支援し、友達の問題を通して具体的に示す。 ・ルールを守れない場面ではその都度個別に声掛けすることで、ルールの確認を行う。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
体育	① 知識・技能	・学習のめあてや運動のポイントを意識していない児童が2割程度いる。(③) ・運動の行い方を知り、友達の良い動きを見付け、自分の運動に取り入れることに課題のある児童が3割程度いる。(①②)	・单元ごとに学習カードを取り入れ、書かせることでポイント等を強く意識させる。 ・ペアやグループなど学習形態を工夫し、友達同士の動きを見合ったり、アドバイスし合ったりする場面を設定する。
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		